

施策番号	1203		
施策名	外国籍市民等がくらしやすく、活躍できる多文化が息づくまちづくりの推進		
概要	外国籍市民等に対して多言語によるコミュニケーションの支援や生活支援を行うとともに、市民が外国籍市民と交流し様々な国の文化にふれる機会を充実させ、外国籍市民等がくらしやすく活躍できる、多文化が息づくまちとする。		
担当局・部室	総合企画局・国際化推進室	共管局・部室	総合企画局・総合政策室
上位政策	12 国際化		
施策に関する主な分野別計画等	京都市国際化推進プラン		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		平成 30年度	令和 元年度	令和2年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウエイト
1	京都市における外国籍の住民基本台帳登録者数（留学生等除く）（人）	a	a	16,592	18,362	16,592	110.7%	a	1.00
2	市内大学等の留学生数（人）	c	c	9,320	10,696	13,637	78.4%	c	1.00
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
客観指標総合評価		b	b					b	

2 市民生活実感評価

設問		平成 30年度	令和元年度							令和 2年度 ※
			評価	そう思う	どちらかと言う そう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言う そう思わない	そう思わ ない	有効回答 者数	
1	国籍、民族、文化等が違っていても互いに理解し合い、ともにいきいきとく らせるまちになっている。	c	c	48 7.3%	210 32.1%	266 40.6%	79 12.1%	52 7.9%	655	-
2	-	-	-							-
3	-	-	-							-
4	-	-	-							-
5	-	-	-							-
市民生活実感調査総合評価		c	c							-

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により調査を一時休止しています。

<総合評価>

平成30	C	令和元	C	令和2	C	施策の目的がそこそこ達成されている
重み付け	☐ 客観指標	多文化共生に対する評価は、市民の理解を得ているかが重視されるべきであると考えため、市民生活実感調査総合評価を重視する。				
	☒ 市民の実感					

<原因分析>

客観指標総合評価

- ☒ b 評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。
☐ c 評価以下であり、次の原因が考えられる。

市民生活実感調査総合評価

- ☐ b 評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。
☒ c 評価以下であり、次の原因が考えられる。
・外国籍市民等が身近な地域社会で活躍し、多文化が定着する取組を進めているものの、そうした取組による成果が市民の方全般には実感されていないため、市民生活実感評価の結果が c 評価以下となったと考えられる。

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>（令和元年度又は令和2年度新規事業）

	事業名	事業費の状況(千円)		令和2年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		令和元年度 決算額	令和2年度 予算額		
1	テレビ型翻訳タブレット端末を活用した区役所・支所における窓口サービスの充実	0	5,743	-	文化市民局
2					
3					
4					
5					

* 予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

- ・外国籍市民の生活支援やコミュニケーション支援の充実を図り、誰もがくらしやすいまちづくりを進める。
- ・大学や関係団体等と連携し、留学生誘致・受入環境整備・就職支援を一貫して展開し、市内の留学生の増加、また、大学・学生の国際化及び市民の国際理解の促進を図る。
- ・多文化共生に対する市民の実感を高めるため、国際交流会館を中心に、多文化共生の取組を行う市民や団体と連携するとともに、同館で実施するオープンデイ等の催しやセミナーなどに、より多くの市民の方が参加できるよう、周知啓発などに取り組む。
- ・京都市内の大学に在籍する留学生を市内の小学校や中学校に派遣し、国際理解につなげるプログラム「PICNIC」等の取組を充実させる。
- ・平成31年4月に立ち上げた多文化共生のまちづくり推進プロジェクトチームにおいて、誰もが暮らしやすい社会の実現や、地域の活性化につなげる方策を全庁一体となって検討していく。
- ・ヘイトスピーチなどの差別を許さないまちづくりを進めるため、公の施設等の使用手続に関するガイドラインを策定するなどの取組を実施してきており、引き続き啓発等の取組を充実させる。
- ・「京都市国際化推進プラン～多文化が息づくまちを目指して～」は令和2年度に最終年度を迎える。その後継となるものについて、現プランの在り方から見直し、今後の本市の国際情勢を巡る方針等を市民や国内外の各種団体、関係機関に示すために、新たに「京都市国際戦略指針（仮称）」を策定することとしており、策定に向けた検討を進める。

施策名	1203	外国籍市民等がくらしやすく、活躍できる多文化が息づくまちづくりの推進
-----	------	------------------------------------

指標名	京都市における外国籍の住民基本台帳登録者数（留学生等除く）（人）
-----	----------------------------------

担当課	国際化推進室	連絡先	2 2 2－3 0 7 2
-----	--------	-----	---------------

1 指標の説明

市内に在住する外国籍市民の数

2 指標の意味

魅力的な国際都市の実現に向けた外国籍市民の暮らしやすさを示す指標

3 算出方法・出典等

出典：事業担当課調べ（京都市における外国籍の住民基本台帳登録者数（留学生等除く））

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	平成30年度	令和元年		数値	根拠	達成度
数値	16,592	18,362	1,770人増	16,592	平成24年度以降の最高値	110.7%

	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値	-			-		

5 評価基準

最新数値の目標値に対する達成度が
a：100%以上
b：80%以上～100%未満
c：60%以上～80%未満
d：40%以上～60%未満
e：40%未満

6 基準説明

目標値を達成できればa評価とし、以下20%刻みで基準を設定した。

7 評価結果

平成30	令和元	令和2
a	a	a

指標名	市内大学等の留学生数（人）
-----	---------------

担当課	総合政策室	連絡先	2 2 2－3 0 3 2
-----	-------	-----	---------------

1 指標の説明

京都市内に本部を置く大学・大学院・短期大学に在学する留学生数

2 指標の意味

魅力的な国際都市の実現に向けた外国人留学生の暮らしやすさと学びやすさを示す指標

3 算出方法・出典等

出典：留学生スタディ京都ネットワーク

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	平成30年度	令和元年		数値	根拠	達成度
数値	9,320	10,696	1,376人増	13,637	令和2年度目標値から各年度の目標を等差的に設定	78.4%

	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値	-	15,000人	令和2年度	71.3%	京プラン実施計画第2ステージ	日本語学校・専修学校を含めた留学生数 14,252人

5 評価基準

最新数値の目標値に対する達成度が
a：100%以上
b：80%以上～100%未満
c：60%以上～80%未満
d：40%以上～60%未満
e：40%未満

6 基準説明

目標値を達成できればa評価とし、以下20%刻みで基準を設定した。

7 評価結果

平成30	令和元	令和2
c	c	c